



こんにちは

村田 けい子です

2019.6.14
No. 206

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

【6.11 両角町長の所信表明】 わたしのめざすまちづくり 2つの重要課題と4つの基本政策で安定した町政運営

★重要課題その1 「索道事業の経営改善策を早期に示し、スキー場を守る」

4年前に「指定管理することができる規定」を議決。留保金も減る中、早期に方向性を示し、観光地の活性化のためにもスキー場を守ります。

★重要課題その2 「旧徳花苑や旧保育園跡地の利活用と耐震化がされていないと思われる中央公民館とその周辺施設の整備方策の検討」

旧徳花苑・・・土地建物が民間施設所有者からも話を聞き、行政として何ができるか検討すべき。
旧保育園跡地・・・更地化して住宅造成予定地になっている所、官民で話し合いがもたれたが成約に至っていない処など各施設とも足踏み状態。

中央公民館とその周辺施設・・・町民の各層が集い語らう居心地の良い空間施設として、効率的・効果的な利用形態が求められるとの思いから、複合的な整備方策の検討。

【4つの基本政策】

1 「子育て支援と教育の充実」・・・子どもたちは地域の宝。

①若者世代の結婚や子育て環境を整えること

が急務。子育て支援住宅の増設や空き家対策の強化、子育て女性の就業支援や子育て相談支援など、きめ細やかな支援体制により若者の定住・移住の促進を図る。

②生きる力を育む蓼科教育の推進。ふるさとに帰って活躍する学生への奨学金免除制度、蓼科高校の存続発展。

2 「豊かな暮らしの実現」・・・高齢者が安心して暮らしていける施策。

①介護施設の確保と充実、 ②医療機関への交通手段の確保対策、③健康増進事業の推進
④サークル活動支援等・・・弱者対策と医療費の抑制や高齢者の生きがい対策、負担軽減策

立科の水をみんなで守り、育んでいく。

3 「産業支援と広域連携」

①商工業者の経営支援、企業誘致や広域連携による若者等雇用の創出を促す。

②農林資源の活用と交流人口増による観光振興及び農林業施設の整備と農業機械の更新や共同利用に資する支援。

4 「先を持据えた投資策」

①公共施設等管理計画に基づく整備方針と資金確保のための財政強化。

②起業・創業者等有能な人材育成を図ることで持続可能な町づくりの中心を担う人材を発掘する。これらすべてが人口減少対策へ繋がる。



今週の
パチリ

浅間号シュツパーツ！

役場庁舎を出て、家に帰ろうとふと見上げると、何と雲が機関車の蒸気のように、5つも連なっていました。

梅雨の晴れ間に、「サアゆくぞ！」と号令を掛けられているようです。毎日整骨院通いの私も、元気が湧いてきます。

それにしても何だってこんな風に雲が連なっているんでしょうかね。まるで浅間山の息遣いのようですね。我が家のイチゴも狸に食べられることなく順調に収穫しています。すぐ横にある畑からいただいています。

【一般質問に見る町長の方針】 中島健夫議員の質問より

★第3の公営交通システムについて

Q, スマイル交通と新福祉型デマンドタクシーの利用状況は？

A, H26年 20,748人
H27年 23,856人
H28年 21,468人
H29年 19,954人
H30年 17,128人(権現の湯の休館に伴う現象)

スマイル交通の利用者は高齢者が多く、固定化している、減少傾向だが、利便性を確保しつつ効率的な運営に努めたい。

★福祉型デマンドタクシーの利用状況は？

A,福祉型デマンドタクシーはスマイル交通の空白地域に代替えとして運行したもの。

H29年以前は、空白地域と障害者を対象で月4枚であった。
登録14名 228枚の利用

H30年 登録41名 670枚の利用に。 月8枚に
(免許返上者/13名 要支援・要介護・操法事業対象者/27名)

H31年 精神障がい者1, 2級+療育手帳所持者

★総合戦略ではスマイル交通の利用者をH31年22,000人の目標達成は難しいのでは？

A,むつかしいと思う。目標設定そのものを見直す。

Qスマイル交通利用者の「行きたい時間に行きたいところへ直行しない」「時間がかかる」「停留所まで遠い」という声にどう応えるか？

A,交通網形成計画では一日の便数を増やし、「1路線5~7便」を「7~11便」にふやす。その代り、運行曜日を見直す。

「時間がかかる」ということについては、ルートの見直しや習性で、時間の短縮を図る。

「停留所まで遠い」という声は、重い荷物を持って帰るには遠いということだと思いが、フリー降車を取り入れる(白樺線は除く)

★全く新しい公営交通システムは？乗り合いデマンドタクシーの導入は？

A,検討したが、予約の受けつけなど、人的配置が必要で今回は見送り。現在のスマイル交通に7割の人が満足している。14%は新たな交通システムを望んでいるが、当分はこのまま、福祉型デマンドタクシーを利用してほしい。

一般質問の様子は、蓼科ケーブルビジョンでも放送されます。ぜひ、ご覧になってください。いずれにしても、どのような交通システムが必要なのか、皆で考え、提案活動など、運動していきましょう。

第1回 五無斎狂歌カルタ大会開かれる。



6月8日、五無斎先生の誕生日に、第1回狂歌大会が行われ、小学校低学年、小学校高学年、一般の部の3部門で「名人位」の証明書と、賞品が授与されました。

A4版で2度練習し、本番に臨みました。歌が読み上げられると体を投げ出して取るなど熱戦が繰り広げられました。

6.22 午後3:00~

市民交流センター
市民と野党の

市民対話集会

6.23 14:00~

日本共産党演説会

穀田恵二衆議院議員がお話しします。
一暮らしに希望を

安曇野サンモリッツ2:00~
立科町役場12:10バスが出ます

6・9 安倍政権打倒・参議院

選勝利の 県民集会



決意を述べる羽田雄一郎氏。「野党の統一候補として何としても勝利を勝ち取りたい」と決意表明。

長野市ひまわり公園で1時から開かれた県民集会は、約1500人が参加。佐久からは約80人の参加。お天気が安定せず肌寒い中での集いでは、開会あいさつのあと、市民と野党の統一の羽田参議院候補が決意表明。各政党も闘いへの決意を語りました。

また、特別アピールとして、91歳に成られた臼田の佐々木都さんが戦中の勤労動員の経験や農村から兵隊に男たちが引っ張られたあと、社会がどうなっていくかをリアルに語られて、参加者の感動を誘いました。

現在の安倍政治の末期的政治の私物化を許さず、「政治は変えられる」と言うことを示そうとの山口二郎さんのお話に感動したという声を聞きました。

山口二郎氏
政策争点を明確にし、
希望を語りながら野党
統一勢力を増やそう！

